

街照らす手作り電飾

地元商店街と大学がタッグ

大宮駅東口

大宮駅東口の商店街に手作りのイルミネーションが点灯されている。銀座通り、一番街、住吉通りの三商店街と芝浦工業大学さいたま市見沼区の学生たちが「商店街を盛り上げたい」と企画した。ビルからぶら下げた、大栄橋脇の壁画をなぞるなどカラフルな電飾が街を照らしている。

(小林雄二)

電飾には赤、青、緑な
けた光の輪など、手作
りな光るチューブ型LE
Dを使用。八階建てビ
ルから吊り下げたツリ
型、アーケードの天井か
らぶら下げた光のカー
テン、フラフラに巻き付

ける宮一商店街サミッ
ト事務局長で、イルミ
ネーションがそのき

ション実行委員会の栗
原俊明委員長(三)は「多
くの商店を巻き込んで
この地域を盛り上げたい。
イルミネーションがその
きっかけになれば」と期
待を寄せる。

毎年春と秋にはフリー
マーケットを開催。夏に
は夏祭りのあり、イベン
トの無かつた冬にイルミ
ネーションを企画した。
街づくりの取り組みで付
き合いがあつた芝浦工業
大にも参加を呼び掛け
た。二回目の今冬は会場
を拡大。銀座通りと大栄
橋から、一番街、住吉通
りまで広げた。

準備は秋からスター
ト。電飾の形や設置場所
などを検討。作り上げた
電飾を、商店街のメンバ
ーと学生たち三十人ほど
が一週間かけて取り付け
た。

同大システム工学部田
村翔さん(三)は「設置場
所の許可申請など大変な
こともあったけど、やり
がいがある」、同学部の
榎本佳史さん(三)は「自
分たちで作ったものを見
て喜んでもらえて嬉し
い」と話していた。

点灯は来年二月二十九
日まで、毎日午後五時か
ら同十一時。



商店街のアーケードの上に丸いイルミネーションを取り付ける芝浦工業大の学生たち＝11月、大宮駅東口の銀座通り(イルミネーション実行委員会提供)